

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	16	学校名	山県高等学校
------	----	-----	--------

学校教育目標 (教育方針)	校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かな人材を育成します。	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後、地域の将来を担う有望な人材となり得る生徒 自分自身のもつ無限の可能性を信じ、何事にもあきらめることなく、挑戦する生徒 人の痛みを我が痛みととらえることができる心優しい生徒
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 「地域に愛され、地域になくってはならない学校」をモットーに、山県市・岐阜市・関市・美濃市等の企業・施設・商工会・市役所等と協力した「地域連携型キャリア教育」の充実 「分かるまで教え、できるまで導く」を合言葉に、少人数授業やティームティーチング、義務教育段階の「学び直し」を通して、基礎学力の定着に向けたきめ細やかな指導 普通類型・商業類型・福祉類型・工業類型を設け、生徒一人一人が自分の興味・関心のある教科・科目を学習することを可能にする単位制の特徴を生かしたカリキュラム編成
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動や企業実習・インターンシップなどの校外学習に興味をもち、地域や社会に貢献したいと願う生徒 進路実現に向けて、他者と協働しながら、コツコツと努力するのが好きな生徒 普通教科以外の学習にも興味がある生徒や、自分の将来の夢を高校生活の中で見つけたいと考えている生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 早期から進路活動が充実して行えるよう、生徒の進路意識向上のための支援が必要である。 本校の学習指導に関して保護者の理解が得られていない。年次通信や授業参観等で理解を深める必要がある。 年度初めの早期の生徒との関係づくりや多様な生徒への粘り強い関係づくりが求められる。 本校の活動が保護者・地域・企業・中学生等に的確に情報発信されていないこともあるため、より正確な情報を素早く継続的に発信していく必要がある。 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	進路指導	地域と連携したキャリア教育・ふるさと教育の充実
	学習指導	「わかるまで教え、できるまで導く」のモットーを踏まえた基礎学力の定着と学力の伸長
	生徒指導	将来地域社会で活躍できる生徒の育成
	学校経営	「4つの類型」から選択する多彩な進路実現の地域への広報促進

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興基本計画で の位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
進路指導	①4つの類型の特徴を生かしたキャリア教育の充実	13	施策Ⅱ-13	① 生徒及び保護者を対象とするアンケートにおける達成度 ② 就職希望者の就職率 ③ 年間の活動・交流回数	A	①各類型における特徴的な学習(主に体験的な学習)の様子から生徒の特性や適性を見極め、個々のキャリア意識向上と進路実現に向けた支援ができた。 ②地元企業施設研修(インターンシップ、企業説明会、企業見学会)、各種進路ガイダンス、面接指導など、キャリアステップに応じた進路支援体制の充実を図っている。 ③各類型での学びをベースにした地域交流活動に定期的に参加したことで、発展的なボランティア活動への参加意欲につなげることができた。	A
	②学校運営協議会委員、PTA役員等による面接指導	13	施策Ⅱ-13				
	③地域の行事、ボランティア、小中学校交流活動への積極的な参加	7	施策Ⅰ-7				
学習指導	①類型別学校設定科目等での少人数・TT・習熟度別授業の強化	23	施策Ⅳ-23	① 生徒による授業アンケート結果 ② ICTを授業に活用した教員の割合 ③ 各種検定の合格率	A	①今年度の生徒(特に1年次)の学習意欲が例年になく高く感じた。生徒の質のみならず、教員の取り組みの変化もあったように思われる。 ②特にICTを積極的に活用した教員達からは生徒の意欲が向上し、調べ学習やグループ学習が抵抗なくできるようになったなどの報告があった。 ③基本的に昨年度と大きな変化はない。生徒の意欲の向上に伴って、検定への挑戦意欲も高めていきたい。	A
	②タブレットや学習支援ソフト等を活用した授業改革	9	施策Ⅱ-9				
	③各種検定(漢字検定、全商協会主催検定、機械検査等)の受検促進	8	施策Ⅱ-8				
生徒指導	①挨拶の励行や時間厳守等の基本的なマナーやルールを身に着けられるような支援	7	施策Ⅰ-7	① 生徒及び保護者を対象とするアンケートにおける達成度 ② 欠席・遅刻者数・交通事故発生件数 ③ 命を守る訓練の実践	B	【生徒向け講話】 情報モラル、交通安全、人権、防犯薬物乱用防止 ①身だしなみ指導(各学期期首)を実施。2割の生徒、保護者が「あてはまらない」と評価。 ②4月の情報モラル、11月の防犯薬物防止の講話や長期休業前にも呼びかけを実施。 ③交通安全啓発活動(MSリーダーズ)やPTAと連携した登校指導、命を守るための学習を実施。	A
	②SNS等の安全・安心な利用を推進するために、情報モラルを身に付けられるような支援	19	施策Ⅲ-19				
	③学校独自の取り組みを通して、交通安全教育、防災教育を充実	19	施策Ⅲ-19				
学校経営	①学校HPによる教育活動の積極的な広報	20	施策Ⅳ-20	① HP新着情報更新回数 ② 新聞等の掲載数 ③ 小中学校訪問・学校説明会の回数	A	①行事写真担当者がこまめに写真を撮り、記事を全教員で協力してどうにか実現した。来年度もできる範囲で継続する。 ②新しい取り組み(山県市との学び支援、学習成果発表会など)も含め、多くの内容を取り上げて頂いた。今後も継続する。 ③学校説明会は伝える役割を生徒中心に進めることができた。今後も継続する。	A
	②山県市報、新聞、ケーブルテレビ等による情報発信	20	施策Ⅳ-20				
	③生徒・教師による小中学校訪問・学校説明会	20	施策Ⅳ-20				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年2月14日

<p>【進路指導】 *生徒個々のキャリアステップに応じた各進路行事の目標設定および教員間連携により、効果的なキャリア支援を進める。 *全職員及び関係機関との連携を密にとり、支援を要する生徒の就職支援体制のさらなる充実をはかる。</p> <p>【学習指導】 *生徒の学習意欲の向上には、少なからず教員と生徒の関係が影響している。授業の中でいかに生徒が安心し、学習へと目を向けられるか、今後もICTの活用のみならずあらゆる手段を駆使し、試行錯誤していきたい。</p> <p>【生徒指導】 *生徒個々に対する個別の対応について、本年度は昨年よりも特性をもつ生徒の割合が増加したが、1・2年次の二人担任制の導入でクラスを複数教員が正担任として担当することで、役割を共有・分担して生徒と向き合うことができた。また、学年団の情報共有と情報交換を大切にし、クラス経営を充実させることができた。次年度も密な情報共有を継続する。 *高校生としてのマナーや社会規範について考えさせ身につけさせるためにも、「制服のあり方」について生徒とともに検討を進めていく。</p> <p>【学校経営】 *地域との連携について、新しい取り組みが今年度多く始まった。やってみて気付いた点などを基に改善を加えると共に、特に立ち上げを担当した教員に業務が重なったことから、来年度以降はそれぞれの教員で分担したり協力したりして進めて行く連携の体制を積み上げていく。</p>

学校関係者評価

実施日：令和7年2月18日

<p>・子どもサポートセンターで、一時避難的に学校を離れても学びを続けられるということは、画期的なことである。今後もぜひ活用してほしい。</p> <p>・検定試験の受検者が増えたことは、生徒たちの学習への思考が上昇志向にある。</p> <p>・生徒との関係性がさらに良い関係になってきている。2人担任制などいろいろな取組で生徒の様子に変化がある。</p> <p>・学校PRIは地道に行うしかない。教職員だけでなく、成長した生徒たちの姿を中学校や地域に見せることで大きく変わる。</p> <p>・毎年新しい試みをされていて、特に外部との連携に力を入れていることは、生徒の成長にとって効果的だ。地域との交流は今後も積極的に進めてほしい。</p> <p>・生徒たちを輝かせるには教職員の指導がなければ輝きません。生徒たちを輝かせることができるような指導をこれからも継続してほしい。</p> <p>・毎年、学校の新しい取組みや成長している生徒の姿を見ることができ、本当にありがたい。</p>
